

病 院 長	副 院 長	事務部長	看護部長	総務企画課長	経理課長	総合支援室長

報告月日 令和元年 05 月 22 日
報告者 沓澤 佳代子

地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議 事 録

開催月日	令和元年 5 月 15 日（水）18 時 20 分～19 時 00 分		
開催場所	JCHO 北海道病院第 2 会議室		
委員長	中村 保博先生	事務局	総合支援センター：米谷 沓澤
委員出席者 (敬称略)	〔外部委員〕 中村 保博 (札幌市医師会豊平区支部副支部長) 佐藤 恵 (腎臓内科めぐみクリニック院長) 佐々木 泉顕 (佐々木総合法律事務所代表) 藤岡 喬一 (中の島福祉のまち推進センター運営委員長) 〔当病院職員〕 古家 乾 (JCHO 北海道病院 病院長) 数井 啓藏 (JCHO 北海道病院副院長、兼総合支援センター長) 小野寺 正逸 (事務部長) 茂木 香里 (JCHO 北海道病院 看護部長)		
委員欠席者 (敬称略)	〔外部委員〕 柳瀬 義博 (札幌薬剤師会常務理事) 館 睦子 (札幌市豊平区保健福祉部長)		
要旨	議題 1. 当病院の地域医療連携の現況報告 ① 一日平均患者数の推移 昨年度と同様の平均患者数で経過した。 ② 平成 29、30 年度 科・月別手術件数比較（手術室実施件数） 昨年度よりは 30 件ほど手術研修が減少している。 ③ 紹介患者数・紹介率の推移 逆紹介患者数・逆紹介率の推移 紹介患者数は約 200 人増加、紹介率 57.1% 逆紹介患者数も約 2000 人増加、逆紹介率 135.9% ※地域医療支援病院紹介率基準を満たしている。 ④ 共同利用（施設・設備・病床）について 共同利用数も増加、最近では骨密度の依頼が増えている。 2、その他 ① 組織図変更について 4 月より当院の組織が変更した。 地域連携相談室より、総合支援センターに名称変更		

引き続き、前方連携、後方連携に加え、入院前支援を開始した。
入院前支援については、予約入院、緊急入院について対応している。
主に予約入院については、手術患者、クリニカルパス適応患者に介入している。
緊急入院については、退院調整に困難が予約される患者に対応している。
当院の特徴としては、健康管理センター、附属介護老人保健施設が併設している。
疾病予防や介護老人保健施設では、看取りを取り入れている。

【質問事項】

今まで通りに、総合支援センターに連絡をした場合、受診対応できるのか？
今までと変わらず対応できる。

② 7月から循環器内科の医師が常勤となる。

【質問事項】

入院患者を保ち、紹介率の向上が必要であるが、どのような対策をしているか？

DPCⅠ～Ⅱの期間内を意識したベッドコントロール、DPCの勉強会などを実施している。
手術件数を増やす事、病床稼働率を上げる必要がある。

②地域講演会開催状況について

別紙の通り平成31年度開催をした。徐々に参加人数が減少している。
町内会長の協力を得ながら地域の方のニーズを把握し講演会を開催したい。

JCHO 中期目標の中に、1000件／年（JCHO 全体）の地域講演会を開催することが目標に掲げられた。
JCHO は 57 病院あり、当院でも年間 20 件程度を目標としていく予定である。

附属介護老人保健施設との共同し講演会を開催していく。